

令和5年9月26日

当院で行っている臨床研究に関するお知らせ

研究課題名：過敏性腸症候群患者の腸内細菌叢の特性と低 FODMAP 食事療法

本研究は山下病院倫理委員会で審査され、病院長の許可を得て実施しています。
個人情報の安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。
また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。

1. 研究の対象

2018年4月1日～2023年5月31日に腸内細菌外来を受診した方。ならびに当施設の低 FODMAP 食事療法を希望した方

2. 研究の概要

(研究目的)

この研究の目的は、過敏性腸症候群患者（以下、IBS 患者）における低 FODMAP 食事療法のツールづくりです。IBS 患者の症状緩和を目的とした低 FODMAP 食事療法は、自己流で長期間行うことにより、腸内細菌叢の乱れ、特定の栄養成分の欠如が懸念されています。そこで正しい食事療法により、よりの確な指導を行うことが重要です。本研究は IBS 患者の方への低 FODMAP 食事療法の有効性を検討し、許容していただきやすい、より良い指導方法を確立することを目的としております。

(方法)

当施設で腸内細菌検査を受けられた方の腸内細菌叢結果、ならびに IBS と診断され、当施設が提案した低 FODMAP 食事療法を行った方と自己流で低 FODMAP 食事療法を行った方の症状改善度と原因食品成分の確定、腸内細菌叢の比較検討

(研究期間) 2023年4月1日～2026年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

受診者情報：年齢、性別、主訴、腸内細菌叢結果、食事アンケートと既往歴、VAS（ビジュアルアナログスケール）による症状の記録、低 FODMAP 食事指導記録から確定した食品成分、

試料：なし

これらの情報は、個人が特定できないようにデータベース化されます。

4. 外部への試料・情報の提供

外部への提供はありません。

5. 除外の申し出・お問い合わせ先

情報が本研究に用いられることについて、ご了承いただけない場合、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、何ら不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

6. 研究組織

医療法人山下病院消化器内科

研究責任者： 医療法人山下病院栄養科 服部 佳子

7. お問い合わせ先

医療法人山下病院 健診センター

担当者： 服部 佳子

〒491-8531 愛知県一宮市中町1丁目3-5

TEL： 0586-45-4511

FAX： 0586-46-3118